2025年度 カレッジスポーツセンター FD 活動方針・活動計画

カレッジスポーツセンターでは、全学の FD 方針（下記）に基づき、以下の取り組みを実施する。カレッジスポーツセンターは本年度、幸野新センター長のもと新たな体制となる。従来の歴史と伝統を引き継ぐとともに、新たな挑戦と改革をもって、カレッジスポーツセンターのビジョンである「学生の競技力向上の推進」と「社会で活躍できるたくましい人間力の育成」の実現を目指していく。

1. （前年度からの継続方針）基礎的スキルの育成 「Life Skill Program」の実施

学生アスリートに求められる専門的な知識や技能の習得・向上を目的とする*。2023年度より継続して月1回、年間8回以上実施。対象は1、3年生とし、隔年でスキル確認を図る。

*例 競技と学習の両立、自分の心身と向き合う、スポーツ栄養実践、負傷予防と身体の仕組み、アスリートのための医学、アンチドーピング、アスリート経験を生かした就職活動等。

2. （前年度からの継続方針）基幹科目の強化

(ア) センター会議（月例）各クラブの活動報告を実施（3クラブ/月）

(イ) 目的 上記ビジョンの実現（そのための、指導力向上及び学生の学びの質の向上）

(ウ) 実施内容 次の内容を報告し、情報共有をして、相互研鑽の場とする。

- ① 大会の結果・予定・重視する大会
- ② 練習内容（週間・年間計画・場所）
- ③ 特徴的な取組み（他のクラブにも参考となるような取組み）
- ④ 他の指導者に意見や情報を得たいこと

3. （前年度からの継続方針）105 分化授業への対応

「スポーツ実践」の授業*について、次の工夫を行い、教員間でも共有を図っている。

*対象：一般学生（例 軽スポーツ、トレーニング、バドミントン、バスケットボール等）

(ア)より十分な安全対策

体調管理・観察・指導、適度な休憩（実質的な休憩）、熱中症対策（水分補給への配慮）、けが予防等

(イ)集中力維持、学習意欲向上のための工夫

ハーフタイムの導入、前半・後半で内容的変化をつける、希望通りの選択でない学生への配慮、環境設定（音楽を流す等）、座学：クイズ形式の活用等

4. 学修成果の可視化

上記 2.のセンター会議における「競技スポーツ実践」（各強化育成クラブ）の活動報告のなかで、実施内容（学修成果）につき、可視化して報告をしていただく。

5. 学生の構成が変化する中での最適な授業づくり

上記 2.のセンター会議における「競技スポーツ実践」（各強化育成クラブ）の活動報告のなかで、「学生の構成が変化する中で構築している最適な授業づくり」についても併せて報告をしていただく。

以上